



未来をつなぐ八頭の力 みんなで創る活力あるまち

鳥取県

八頭町

町勢要覧



町マスコットキャラクター
やずびよん



〈町章〉

八頭町(やずちょう)の「や」の文字で、人々が集い自然と調和して暮らす町をデザイン化。羽ばたく鳥の姿で自然との一体感や大空に夢が広がる町の明るいイメージを表し、八頭町の飛躍を象徴したものです。

〈町民憲章〉

- 一 健康で明るい家庭を築きます。
- 一 たがいに声をかけあい、誰にも親切にします。
- 一 思いやりと感謝の心で、人を大切にします。
- 一 力を合わせ住みよいまちをつくりまします。

〈町の花〉



町の木 柿



町の花 さつき

〈目次〉

皆様、こんにちは。この度は、八頭町の「町勢要覧」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

私たちのまち八頭町は、豊かな自然環境と温かい地域コミュニティを有する素晴らしい町です。四季折々の美しい風景が広がり、地域の皆様方が心豊かに生活できる環境を整えることが、私たちの大切な使命であると考えております。

これから私たちが目指すまちは、「未来をつなぐ八頭のみみんなで創る活力あるまち」です。

八頭町では、地域資源を活用した新たな産業の創出や、子育て支援、高齢者福祉の充実を図るための施策を推進しています。また、地域の皆様に参加できるイベントや活動を通じて、コミュニティの絆を深めていくことにも取り組んでいます。

人と人の絆、地域のつながり、そして郷土を思う心は、八頭町のかげがえのない財産です。これからも安心安全で活気に満ちたふるさと八頭を次世代へとつなげるため、町民の皆様方と共にまちづくりに取り組んでまいります。

今年度、八頭町は合併20周年を迎え、本町のこれまでの歩みをわかりやすくまとめた「町勢要覧」を作成いたしました。

本冊子を通じて、八頭町の魅力や取り組みを知っていただく一助となれば幸いです。



八頭町長
吉田英人

〈目次〉

22	20	18	16	14	12	10	8	6	4				
八頭町20年の歩み	感動が広がるまち	訪れるたびに新たな発見と	持続可能なまちへの挑戦	未来の田舎を創造	みんなが主役	安心と笑顔が広がるまち	自然に囲まれ伸び伸び子育て	ワクワクがいっぱい	快適で安心な暮らしが続くまち	豊かな自然が生んだ八頭の味	自然の恵みを生かし 未来へつなぐ産業のまち	歴史と伝統を守り文化が息づくまち	自然とともに心穏やかな暮らし

自然とともに心穏やかな暮らし



春の遠見山登山

四季折々の自然と 調和する暮らし

雄大な山々に囲まれ、清らかな河川が流れる八頭町は、日本の甘柿「花御所柿」をはじめ、梨、りんご、ぶどうなど、多彩な果物が実るフルーツの里です。

春は花咲く里山を歩き、夏は清流に涼を求める。秋はたわわに実る果実を味わい、冬は雪景色の中で自然と向き合う。四季の移ろいが日常に溶け込み、自然とともにある豊かさを実感できる町です。

また、地域の人々が守り続ける環境には、多様な生き物が息づきます。国の天然記念物であるコウノトリや、希少なアカシヨウビン、オオコノハズクが訪れる風景も、この町ならではの魅力です。

八頭町には、自然の恵みとともに穏やかに暮らす、心豊かな日々が広がっています。



アカシヨウビン



国の天然記念物 コウノトリ

八頭町に飛来する
希少な野鳥



オオコノハズク





天満山で花見遠足



安徳の里姫路公園でヤマメ釣り



はっとうフルーツ観光園で梨狩り体験



八東ふるりの森でキャンプ



私都川にヤマメの稚魚を放流



柿畑を眺めながらウォーキング



冬は雪遊び

歴史と伝統を守り 文化が息づくまち



安藤祭 約200年前の江戸時代、水不足にあえぐ人々のために私財をなげうって農業用水路（安藤用水）を築いた安藤伊右衛門翁をしのんで行われる祭りです。

暮らしとともに育まれた

歴史と文化の町

神話や伝説が息づくこの地には、歴史の面影を感じさせる文化財や、地域に根付いた伝統行事が数多く受け継がれています。

国重要無形文化財に指定された「因幡・但馬の麒麟獅子舞」や、県の無形民俗文化財に指定された「澤神社の麒麟獅子舞」、江戸時代前期から続く「下船岡神社神幸祭」、農業用水路を築き、地域を救った安藤伊右衛門翁をしのぶ「安藤祭」など、伝統芸能は地域の誇りとして今も生きています。

歴史が織りなす物語と今に伝わる文化の息吹が、八頭町をさらに魅力的な町へと彩っています。





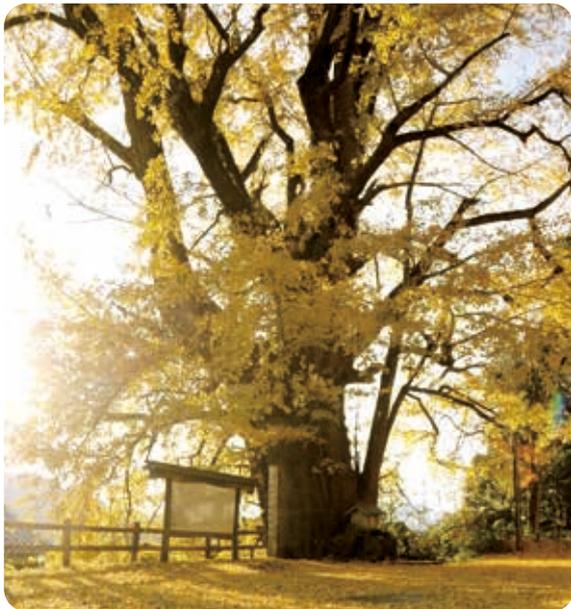
澤神社の麒麟獅子舞(県指定無形民俗文化財)

獅子の胴体に使われている布(蚊帳)は、鳥取藩主池田光仲から拝領した寝具で創ったと伝えられています。



下船岡神社神幸祭(町指定無形民俗文化財)

約390年の伝統がある下船岡神社の祭り。榊(さかき)を先頭に御轎(おのぼり)、神輿(みこし)など約300人が繰り出します。



西御門の大イチョウ(県指定天然記念物)

推定樹齢500~600年、樹高30m、幹回り約8mの大イチョウ。後醍醐天皇が隠岐から京都への還幸の途中にお手植えされたともいわれています。



**大樹寺(国有形登録文化財)と
樹齢400年のウラクツバキ**

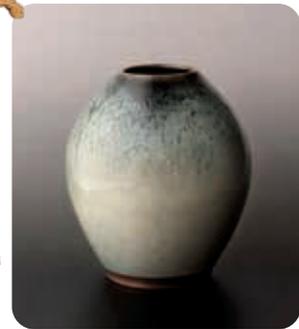
令和6年に本堂、開山堂、僧堂、鐘楼が国の有形文化財に登録されています。本堂は境内の建物群の中で建築年代が最も古く、当時の因幡地方に於ける建築技術を駆使して造られています。



伝統的な技法で高く評価されている
鳥取県郷土工芸品木製品桐箱



成田山青龍寺
持国天立像、多聞天立像
(国指定重要文化財)



江戸時代に鳥取池田藩の
御用窯とされた
因久山焼(いんきゅうざんやき)

自然の恵みを生かし 未来へつなぐ 産業のまち



トレーニングファームの演習 輝太郎柿収穫

伝統と挑戦が紡ぐ 産業の未来

豊かな自然のもと、稲作や果樹栽培が受け継がれ、G1登録された「こおげ花御所柿」やブランド梨「新甘泉」、特別栽培米「神兔」など、多彩な特産品が生まれています。持続可能な農業を目指し、スマート農業の導入や後継者育成にも力を注いでいます。

町の約8割を占める森林では、低コスト化を進めるスマート林業や、地域材の活用を推進。資源を守り、活かす取り組みが進んでいます。

豊かな自然や地域資源を観光に生かし、デジタル技術を活用した魅力発信にも注力。商工業や観光業との連携を深めながら、まち全体の活性化を目指しています。

受け継いだ伝統を大切にしながら、新たな挑戦を続ける。八頭町の産業は、未来へ向かって歩みを進めています。



後継者不足解消に向けて 果樹トレーニングファーム開講



柿栽培体験会



町に広がる水田



森林管理にドローンを活用



八頭町産スギ・ヒノキを使用した木のおもちゃと木製ボールペン



スマート農業の普及 ラジコン草刈り機



八頭町観光協会おすすめ
レンタサイクルで町探検



はっとうフルーツ観光園 りんごの受粉作業



ぶらっとびあ・やす内にある観光案内所

豊かな自然が生んだ八頭の味

八頭の恵み、
自然が育む特産品

澄んだ水と豊かな土壌が育んだ梨、柿、りんご、ぶどう…。秋には町中が芳醇なフルーツの香りに包まれます。

200年以上の歴史を誇る「おおげ花御所柿」は、日本の甘柿としてGI（地理的表示保護制度）にも登録された逸品。さらに、この豊かな自然環境で育まれた素材を活かし、上質なジビエや濃厚な卵を使ったスイーツなど、多彩な加工品も生まれています。

自然の恵みと人の手が織りなす、ここでしか味わえない特産品の数々。そのひとつひとつが、八頭町の豊かさを物語っています。



町に広がる柿畑



八東地域を中心に生産されているりんご。秋にはりんご狩りも楽しめます。



早生の赤梨として最高クラスの甘さを誇る鳥取県産ブランド梨「新甘泉」

上品な口あたりと甘み、独特の風味が特徴の西条柿



八頭町の豊かな自然の中でミネラル豊富な水を用いて育てたブランド米「神兎」



私都川の清流で育ったヤマメ

マツタケに似た食感で、そのまま焼いて食べてもおいしいエリンギ

八頭が誇る、素材を活かした加工品



ふるさと納税
返礼品としても
大人気だひゃん!



自然豊かな八頭町で育った鹿を丁寧な処理で上質なジビエ料理に



ふるさと納税
特設サイト

自然豊かな環境で、平飼いで育った元気な鶏が産んだ新鮮な天美卵をはじめ、大江ノ郷自然牧場自慢のスイーツ



特産品や
特産品販売店などの
情報が盛りたくさん



八頭町観光協会
ホームページ

「特別栽培白ねぎ」から生まれた無添加調味料「白ねぎ酢」、
「白ねぎぼん酢」と、甘い柔らかな白ねぎがたっぷり入ったドレッシング「ネギネージュ」





町営「やずバス」

快適で安心な 暮らしが続くまち

みんなのでつくりあげる
暮らしやすい未来

便利で持続可能な移動を支える
公共交通の維持、地域の防災力を
高める取り組み、美しい景観を未来
へ受け継ぐ活動。

快適で安全な暮らしを支える
取り組みが広がり、豊かな自然と
共存して、誰もが安心して快適に
暮らせる環境が育まれています。



ローカル線若桜鉄道 自然豊かな沿線風景を走り抜ける観光列車
(赤色の列車:八頭号、青色の列車:昭和号)



町防災フェスタ はしご車乗車体験



集落ごとに開催している防災訓練



保育所園児による防火パレード



地域住民によるボランティア活動



国道29号沿線にあるバス停やガードパイプを濃いこげ茶色の「八頭ブラウン」に





ワクワクがいつぱい 伸び伸び子育て

小学生の田植え体験



町内保育所は完全給食を実施

子育て世帯を支える充実したサポート体制の中、豊かな自然に囲まれた環境で生きる力を育む教育を実践しています。

異年齢児や地域との活発な交流を通じて、子どもたちが多彩な体験を楽しむことができます。他では味わえない、活き活きとした子育てが実現する魅力あふれるまちです。

活き活きワクワク
子どもの笑顔が輝くまち

自然に囲まれ



多彩なプログラムでにぎわう 子育てフェスタ





高校生と保育園児との交流会



姉妹都市横城郡からの行政派遣研修生との交流事業



夏休み自由研究応援プログラム



小学生が地域で活躍する人に学ぶ 輝プロジェクト



元日本代表選手に教わるホッケー教室



中学生の職業体験 ワクワク八頭中



保育園児の稲刈り体験



住民有志で立ち上げ 子育てサークル

みんなが主役 安心と笑顔が 広がるまち



原風景ウォーキング

健康と安心が息づくまち

自然豊かな環境を活かした健康イベントや教室が充実し、楽しみながら心も体も健やかに育む取り組みが広がっています。誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく生活を乐しめるよう、地域の絆を深める取り組みが進められています。やすらぎと生きがいを感じられるまちを目指し、乳幼児期から高齢期まですべてのライフステージで継続的に支える体制を整えています。



まちづくり委員会
介護予防のための100歳体操





離乳食講習会



ゆるやか体操教室



5歳児検診



地域の相談役
人権擁護委員による出張相談会



高校生による認知症啓発運動



まちづくり委員会 世代間交流会

未来の田舎を創造 持続可能な まちへの挑戦



複合コミュニティ施設「隼Lab.」



複合コミュニティ施設「隼Lab.」PARK OFFICE

未来へ向けた「ゆるやかな
つながり」が生む可能性

多様な生き方がゆるやかに重なり
合い、新たな学びや発見を生む場が
ここにあります。

廃校を活用した複合コミュニティ
施設「隼Lab.」では、地域住民と
移住者、訪問者が交わり、それぞれの
暮らしを豊かにする新たな価値が
生まれています。



持続可能な未来の田舎をつくる「八頭町未来の田舎プロジェクト」始動



買い物サービス「トリスト」配送拠点「Bird Yazu」開設



空き家のサブリース事業に取り組む一般社団法人
Yearning for Yazu Project (ヤーニング・フォー・ヤズ・プロジェクト)
略称YYPのメンバー

人と資源をつなぎ、新たな
可能性を生み出すまち

サブリース事業を活用し、空き家の
利活用を積極的に推進。移住希望
者と地域をつなぐことで、住まいの
再生だけでなく、新たな挑戦の場を
生み出しています。

人と人とのつながりが地域を支え、
まち全体で新たな一歩を応援。今
ある資源を活かしながら、地域の
未来とともに創るまちづくりを進め
ていきます。



町内の空き家に移住してきたご家族



空き家をリノベーションして飲食店を開業



八頭町移住定住センター



訪れるたびに新たな発見と 感動が広がるまち

隼駅まつり

笑顔が広がるイベントと
ツーリズムの魅力

春のたけのこ掘りやヤマメのつかみ取り、夏の「きらめき祭」や、隼バイクが集結する「隼駅まつり」、秋の味覚を堪能できる「八頭町マルシェ」など、季節ごとに広がる多彩なイベント。

自然豊かな環境の中での特別な体験と地域のあたたかみが、訪れる人を迎え、住む人々にも新たな楽しみを届けています。

四季折々の魅力が詰まったこのまちは、誰にとっても心弾む場所です。



八頭町に伝わるもう一つの白兔伝説

八頭町出身の文化人による作品など多数展示
八頭町芸術文化交流プラザ
あーとふる八頭





ふなおか竹林まつり たけのご掘り体験



やずミニSL博物館 やずぼっぽでミニSL乗車体験



八頭町マルシェ やずの味に舌鼓



きらめき祭 みんなで踊ろう八頭町音頭



隼バイクの聖地 隼駅



八東ふるりの森 溪流サウナ



八頭の星空



安徳の里 姫路公園
ヤマメのつかみ取り体験



メダリストを目指せ 森下広一杯 八頭町マラソン大会

◆八頭町20年の歩み

▼2004年(平成16年度)

●3月 郡家町・船岡町・八東町が合併し、八頭町誕生

▼2005年(平成17年度)

●7月 町営住宅稲荷団地完成

●12月 八頭町合併記念式典開催 町章、町民憲章、町の木・町の花決定

●12月 八頭町・韓国横城郡友好交流協定調印

●12月 八頭町総合計画策定

▼2006年(平成18年度)

●4月 「地域包括支援センター」設置

●9月 行財政改革の推進に向けて行政改革大綱を策定

●10月 第1回森下広杯八頭町マロン大会開催

●10月 全国スポーツ・レクリエーション祭ベタंक大会開催

●3月 八頭町イメージソング「夢の向こうに」、「八頭町音頭」が完成

▼2007年(平成19年度)

●4月 八頭町商工会設立

●8月 八頭町女性消防隊発足

●8月 平成19年8月豪雨災害

▼2008年(平成20年度)

●7月 若桜鉄道関連施設23件が「国の登録有形文化財」に登録

●9月 安部地区総合公園が完成

●10月 移動図書館車が巡回開始

●12月 桜ヶ丘第2次宅地造成工事完了

●3月 「島橋」完成

▼2009年(平成21年度)

●4月 若桜鉄道が公有民営として全国初の上下分離方式に移行

●4月 中央中学校の工事完了

●8月 第1回集駅まつり開催

●8月 町道日下部見槻線開通

●8月 鳥取環境大学と八頭町との連携・協力に関する協定書締結

●11月 神ウサギのオブジェをJR郡家駅前設置

●3月 防災行政無線機のデジタル化事業完了(船岡・八東地域)

▼2010年(平成22年度)

●4月 町営さんさんバス運行開始

●7月 男女共同参画センター「かがやき」開所

●9月 郡家西小学校・八東中学校の耐震補強工事完了

●9月 防災備蓄倉庫(郡家地域)新築工事完了

●10月 「関西八頭町会」設立

●11月 郡家東小学校・八東小学校・船岡中学校の耐震補強工事完了



▼2016年(平成28年度)

●4月 若桜鉄道車両を八頭町・若桜町が保有し、新たな上下分離方式へ

●5月 SBドライブ(株)と自動運転実証に関する連携協定締結

●7月 全国高等学校総合体育大会ホッケー競技開催

●8月 果樹優良園維持管理事業開始

●10月 大御門地区福祉施設開所

●11月 東郡家地区福祉施設開所

●3月 (東郡家地区まちづくり委員会)

●3月 中私都地区福祉施設開所

●3月 (中私都地区まちづくり委員会)

●3月 八東地域小学校統合に伴う旧八東中学校改修工事完了

▼2017年(平成29年度)

●4月 やすみんSL博物館「やすぽっぽ」完成

●4月 船岡・大江小学校を統合し、

●4月 新生「船岡小学校」が開校

●4月 丹比・八東・安部小学校を統合し、

●4月 新生「八東小学校」が開校

●4月 船岡・隼・大江へき地保育所を統合し、

●10月 新生「船岡保育所」が開所

●10月 平成29年台風21号災害

●12月 単地区福祉施設開所(単地区まちづくり委員会)

●12月 八頭イノベーションプロジェクト拠点施設「単Lab」完成

●3月 若桜鉄道観光列車「昭和号」デビュー

▼2018年(平成30年度)

●4月 「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」連携協定締結

●6月 八頭町地域福祉推進計画策定

●7月 平成30年7月豪雨災害

●12月 こおげ花御所柿がG1(地理的表示保護制度)に登録

●3月 若桜鉄道観光列車第2弾「八頭号」運行開始

●3月 SBドライブ(株)と全国初の

●3月 自動運転バス走行実験を実施

▼2019年(令和元年度)

●4月 丹比・八東・安部保育所を統合し、

●5月 新生「八東保育所」が開所

●5月 船岡地区福祉施設開所(船岡地区まちづくり委員会)

●8月 第50回記念集ボール祭開催

●10月 町内小・中学校にエアコン整備完了

●12月 八頭高等学校女子ホッケー部が初の全国制覇

●3月 町営バスのデザインを一新。名称を「やすバス」へ

●3月 若桜鉄道観光列車第3弾「若桜号」運行開始

●3月 八東駅行きき違ひ施設共用開始

●3月 町道下濃船久線改良事業完了



▼2011年(平成23年度)

- 4月 CATVと光インターネットサービス開始
- 12月 白兔神社に「狛ウサギ」設置
- 2月 「八頭町学校給食共同調理場」完成

▼2012年(平成24年度)

- 4月 「総合支所方式」から「分庁方式」に移行
- 4月 「福祉事務所」設置
- 4月 地域おこし協力隊制度開始
- 5月 「八頭町文化協会」設立
- 7月 佐藤雅子選手がロンドンオリンピック(ホッケー)に出場
- 11月 「広留野基幹農道」完成
- 11月 八頭町PRキャラクターが「やずびよん」に決定
- 12月 上私都保育所開所
- 1月 「八頭町自治基本条例」制定
- 3月 防災備蓄倉庫(船岡地域)新築工事完了
- 3月 「一般県道河原インター線(かわはら八頭フルツライン)」全線開通

▼2013年(平成25年度)

- 4月 済美地区福祉施設開所(済美地区まちづくり委員会)
- 5月 一般財団法人八頭町農業公社設立
- 6月 安部地区福祉施設開所(安部地区まちづくり委員会)
- 6月 上私都地区福祉施設開所(上私都地区まちづくり委員会)
- 9月 国中活性化施設完成
- 10月 八頭町立新学校の名称が「八頭中学校」に決定

▼2014年(平成26年度)

- 6月 「本庁舎耐震改修工事」着手
- 6月 「門尾橋」が完成
- 10月 町道出合線改良事業完成
- 11月 「八頭町合併10年記念式典」開催
- 3月 第2次八頭町総合計画策定
- 3月 「郡家駅」ミニシティ施設(ぶらっとびあやず)「完成
- 3月 「八頭町観光協会」が「ぶらっとびあやず」に移転オープン
- 3月 中学校統合に伴う中央中学校増築工事完了

▼2015年(平成27年度)

- 4月 中私都・下私都・たから保育所を統合し、新生「郡家東保育所」が開所
- 4月 中央・八東・船岡中学校を統合し、新生「八頭中学校」が開校
- 4月 SL走行社会実験実施
- 7月 日韓交流10周年記念碑設置
- 8月 JA鳥取いなば広域果実選果場完成
- 2月 下私都地区福祉施設開所
- 3月 下私都地区まちづくり委員会(準ラッピング列車運行開始)



▼2020年(令和2年度)

- 4月 丹比地区福祉施設開所(丹比地区まちづくり委員会)
- 7月 八東地区福祉施設開所(八東地区まちづくり委員会)
- 10月 中私都グラウンドの全面芝生化事業完了
- 12月 若桜線全線開通90周年記念感謝祭を開催
- 2月 マイナビカードを利用したコンビニ交付サービス利用開始
- 3月 八東川水辺プラザ河川公園整備事業完了
- 3月 梨経宮モデル団地(いなば新水園)整備事業完了

▼2021年(令和3年度)

- 4月 国のGIGAスクール構想本格始動
- 5月 東京2020オリンピック聖火リレー開催
- 8月 八頭中学校男子ホッケー部が県勢初の全国制覇
- 10月 準Lab.が第9回プラチナ大賞
- 11月 「優秀賞・未来の田舎賞」を受賞
- 11月 郡家西小学校及び郡家東小学校が創立40周年記念式典を開催

▼2022年(令和4年度)

- 4月 県が定める「星空保全地域」指定
- 11月 八頭町芸術文化交流プラザ「あーとふる八頭」完成
- 3月 ドローン配送実証実験実施
- 3月 町道新道線改良事業完了
- 3月 大門地区果樹団地整備事業完了

▼2023年(令和5年度)

- 4月 可燃物ごみ処理施設「リンピアいなば」稼働開始
- 5月 「SDGs未来都市」選定
- 8月 台風7号による記録的な大雨により私都川が氾濫
- 9月 「安藤祭」200年記念大祭開催
- 9月 竹ノ下排水対策事業完了
- 12月 町営住宅東郡家団地改修工事完了
- 3月 鳥取大学と八頭町との地域協働に係る連携協定書締結
- 3月 郡家西小学校長寿命化工事完了

▼2024年(令和6年度)

- 6月 町立保育所で完全給食開始
- 10月 「八頭町果樹トレーニングファーム」開講
- 10月 八頭高等学校男子ホッケー部が国民スポーツ大会で鳥取県勢初の優勝
- 10月 ねりんピックはばたけととり2024
- 12月 八頭町将棋交流大会開催
- 3月 八頭高等学校男子ホッケー部が全国高校選抜大会で鳥取県勢初の優勝
- 3月 志子部・大江地区ほ場整備事業完了
- 3月 郡家東小学校長寿命化工事完了
- 3月 第3次八頭町総合計画策定

ACCESS MAP



鉄道

大阪～郡家……………約2時間20分 [特急スーパーはくと]
岡山～郡家……………約1時間30分 [特急スーパーいなば]

高速バス

大阪～河原IC……………約3時間30分 [日本交通高速バス]
[弁天町 / なんば経由]

自動車

大阪～郡家……………約3時間30分
[大阪(中国自動車道) - 山崎IC - R29 - 八頭]

大阪～郡家……………約2時間40分
[大阪(中国自動車道) - 佐用JCT - 河原IC - 船岡IC - 八頭]

岡山～郡家……………約2時間20分
[岡山 - R53 - (鳥取自動車道) 智頭IC - 河原IC - 八頭]



鳥取県八頭町

< 令和7年4月発行 >

〒680-0493 鳥取県八頭郡八頭町郡家493番地

Tel.0858-76-0201(代表) Fax.0858-73-0147(代表)

<https://www.town.yazu.tottori.jp>